

■平成30年度第1回（第285回）都市経営戦略会議結果概要

【日 時】 平成30年4月26日（木）午前10時00分～午前10時30分

【場 所】 政策会議室

【出席者】 市長、日野副市長、高橋副市長、松本副市長、水道事業管理者、教育長、都市戦略本部長、総務局長、財政局長、総合政策監、都市局長

【議 題】 大宮駅東口周辺公共施設再編／公共施設跡地活用全体方針（案）について

< 提 案 説 明 >

大宮駅東口周辺公共施設再編／公共施設跡地活用全体方針（案）について、都市局から次のような説明があった。

- ・ 本件は、第273回都市経営戦略会議（平成29年8月23日開催）で了承をいただいた「大宮駅東口周辺公共施設再編／公共施設跡地活用全体方針（原案）」について、その後PI（Public Involvement）を行い、市民・専門家の意見に基づく提案書を踏まえ、新たに大宮駅東口周辺公共施設再編推進本部にて取りまとめた案について、審議をいただくものである。
- ・ 原案からの主な変更点として、新たに「公共施設編／跡地活用の全体方針」に「⑤プログラム先行」、「⑥魅力的な都市空間の創造」を追記した。これは、PI及び市民・専門家の意見に基づく提案書を踏まえ、変更したものである。
- ・ また、「公共施設再編による連鎖型まちづくりによる効果」についても提案書に基づき「市民参画を通じた将来の担い手育成」の追記を行った。
- ・ 本件審議後、パブリックコメントを経て方針を策定する。また、「駅前賑わい拠点」、「地域連携拠点」、「氷川神社周辺エリア」の各プロジェクトチームでの検討を進めていく。

< 意 見 等 >

- ・ 新たに追記された「⑤プログラム先行」とはどういう意味か。市民にとって分かりやすい表現の方がいいのではないか。
- まちのコンセプト、必要な機能を決めてから議論を行いたい趣旨である。表現の補足説明について別途検討する。
- ・ 氷川神社周辺エリアについては、検討の対象になっていない周辺の公共施設とも連携して事業を進めていく旨の記述が必要である。

< 結 果 >

- ・ 都市局発議の大宮駅東口周辺公共施設再編／公共施設跡地活用全体方針（案）については、原案のとおり了承とする。ただし、以下の点に留意すること。
 1. 「全体方針⑤プログラム先行」の表現について、その内容が市民に分かりやすく伝わるよう資料に補足説明を追記する等、検討すること。
 2. 氷川神社周辺エリアについて、周辺地区と連携して事業を推進する旨、資料に補足説明を追記する等、検討すること。

< 会 議 資 料 >

（資料１）大宮駅東口周辺公共施設再編/公共施設跡地活用全体方針（案）について

（資料２）大宮駅東口周辺公共施設再編/公共施設跡地活用全体方針（案）説明用資料